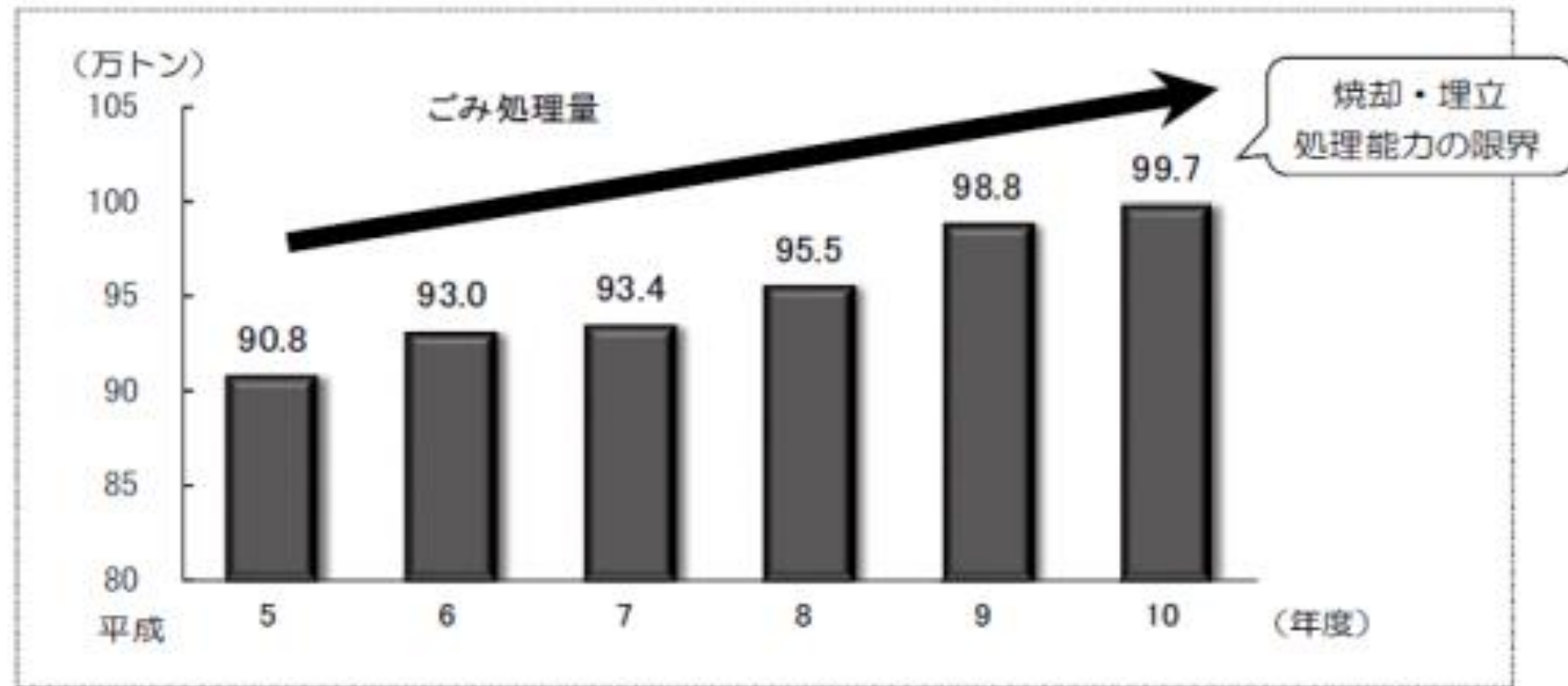


プラスチックごみについて

機械工学科 細井遥稀
中村成志

1 テーマ設定の理由

- 今家庭の授業でプラスチックごみについての話を聞いたので
- どうなっているのか気になったのでこれにしました。



2 現状

- 海に流出するごみのうち、約80パーセントが内陸部のものである。
- 2050年には魚の量を上回るペースで進んでいること。
- 主要な排出源は東南アジアが多く日本も他人事ではないこと。
- 長野県は海と接していないから、問題意識していない。

3 問題点

- ゴミを魚が食べてしまうし、その魚を人間が食べると病気になってしまうこと。
- ゴミにより景観が損なわれ観光業にも影響がでてしまうこと。
- 海洋産業では漁獲用の網がから絡まってしまうこと。



4 今後の課題

- 一人一人の意識を持ち、川にもものを捨てないように心がけること。
- 自然に戻りにくい物を減らすこと。
- 小学校、中学校などに地球温暖化の話をさせること。



5 10代からの提言

長野県は川からゴミを減らした方が良い

6 考察・感想

- 授業でプラスチックごみについて学んだけれど調べ学習を通してリアルな現状をすることができた。
- プラスチック問題について調べて問題意識を高めたいと思いました。